

韓国企業と合併設立

ファーマフーズ 機能性食品素材で

バイオベンチャーのファーマフーズは韓国中堅財閥の東部グループと機能性食品素材を製造販売する合併会社を6月下旬に設立する。新興国では健康意識が高まっており、機能性食品の需要が拡大している。ファーマフーズは東部が持つ販路を生かし、東南アジアなどで拡販を狙う。

農薬や肥料を生産する化学メーカーの東部韓農(ソウル市)と「東部ファームPFI」(同)を設立する。資本金は1億

5千万^{ドル}(約1千万円)で東部韓農が51%、ファーマフーズが49%を出資する。事業は2013年1月に始める。ファーマフーズはスト

レス軽減効果のあるアミノ酸「ギャバ」や骨の成長を促す「ボーンペップ」などの機能性食品素材を開発している。これまでは北米や中国で売り上げを伸ばしていたが、インドネシアやベトナムでの販売が手薄だった。